

陶土屋さん
からの
ニュースレター

磁器 シキよまんば!

発行部数912部

2023.6
34

[早くよまなきゃ!]

巻頭のあいさつ

韓国に粘土を送りました!

韓国で陶芸資材の販売をされている方からのご依頼で、5月に韓国へ磁器土を送りました。われわれの地元では、やきものの生産量が伸び悩んでいます。そういう中での輸出のご注文は非常にありがたかったです。

きっかけは長崎県でデザイン事務所をされていた方からのご紹介です。6年ほど前に一緒にお越しいただいて、ご注文の話になりかけたのですが、その時はまとまらず、その後に新型コロナウイルスが流行ったこともあって延び延びになっていました。

コロナ禍が収束に向かい、入国制限と水際措置が緩和されたことで、2月の初めに韓国からお見えになり、ご注文となりました。その方が大ファンだと仰る日本の作家さんが、当社の粘土をお使い

いただいているのも後押しとなりました。本当にありがとうございます。

撰上(えりじょう)磁器土を1コンテナ分20トンということでしたので、少しお時間をいただいて準備をし、5月1日、当社から伊万里港に向けて出荷しました。

GW明けに検査・手続き・コンテナへの積み込み、5月13日に船積みされて、16日釜山港に向けて出港しました。

これとは別に、4月には業者さんを通じて、当社の磁器土がオーストラリアへ届けられたと聞いています。

ここ数年、直接であったり間接であったり、海外からのお引き合いをいただきます。これを機に日本国内だけでなく海外の方にも私どもの粘土をもっともっとお使いいただけると嬉しいです!

洲野直幸



真空土練機で練って

包んで

パック詰め、いつもご注文いただく粘土もこのようにしています

パレットに段積み

トレーラーに載せて出荷

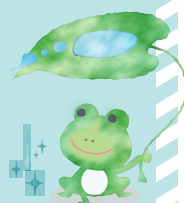


洲野日菜

時間があっという間。また一緒に遊びに行きたいです!



長崎に行つて
きました♪



長女の日菜です。5月3日、フミちゃんと一緒にマイコの部屋に泊まりにいきました。2人とも中村学園大学時代の友人です。マイコは沖縄県出身で卒業後は熊本で働いていたのですが、職場が変わって長崎県佐世保市に引っ越しました。
そこにフミちゃんと遊びに行ったのです。そして思いつきで長崎市内に行こう! ということになり、翌朝出発しました。
ペンギン水族館に行つて中華街でお昼ご飯を食べ、この日は終日雨だったのでグラバー園はあきらめて帰路に。行きは高速道路を使ったので、帰りは一般道で西海橋を通るルートにしました。
フミちゃんは佐賀県有田町、私は佐賀県嬉野市、3人それぞれ大学の学科は異なりますが、同じ学生寮で仲良くなった友人です。久しぶりに会っても数秒で気持ちが大學生に戻ります(笑)。友達と過ごす楽しい時間はあっという間。また一緒に遊びに行きたいです!

MARIの
ココロ(は
ひなまり

「糸島のちょっとイイところ 見てみたい」これ、 シリーズ化しちゃお(笑)

サン・マリンデザイン
オフィスの友永です!



糸島に引っ越してきて2年が経ちました。ここ数年でかなり糸島という地が全国的に有名になり、休日は観光客で賑わっております ^^ ただ、住民としては車の渋滞がちょっとアレですが…。

以前、カキ小屋の紹介をこのコーナーでさせていただきました。今回は糸島と言ったらこれ、これを語らずにはいられません。そう! 海鮮丼! ドドーン!! 玄界灘に面しているだけあって、新鮮で美味しいお魚料理が食べられるお店が多いです。

なかでも、行列ができるほど有名なのが海鮮丼。美味しいと評判のところ数店舗あって、その全部を制覇したいと思っております (o´´o) 今回はこれまでに実食してきた3店舗の海鮮丼をご紹介します!

まず、糸島のお魚と言ったらココ、「塚本鮮魚店」。平日でも開店前から行列です。土日祝日は大行列です。もはやここが観光地になっています(笑)。店内は広く、テーブルの間隔が広いのでゆっくりお食事できます。

次は「志摩の海鮮丼屋」。ここは「志摩の四季」というお魚・お野菜・果物を売っている直売所の中にあります。ここも並びました。大衆食堂という雰囲気、パッパと食べて帰る感じがな。

最後は、「大門茶屋いろり」。古民家をリノベーションした店内は趣があってとても良き空間でした。ネットで調べるとこちらにも並ぶの必須(´Д`;) 覚悟して行ったのですが、タイミングよく並ばず入店できました♪

とにかくどこもお魚が新鮮でめちゃくちゃ美味しいのですが、今のところやっぱり「塚本鮮魚店」がダントツの1位です! これは並んで食べる価値アリ! まさに「海の宝石箱や〜」(古い?) です☆

と、いうわけで糸島ライフをご紹介していく「糸島のちょっとイイところ見てみたい」を(勝手に)シリーズ化決定! 不定期です(笑)。友永 真麗

▶まさに贅沢の極み! 木タギキラッキラして至福のお味です!
極上海鮮丼 2500円
茶碗蒸し・吸い物・小鉢・漬物付



▶その日に取れたお魚によつて、ネタが変わります。個人的には赤みが無いのがサミシイ(笑)。海鮮丼 大 1300円
あら汁・漬物付



▶海老が超ブリッブリッで甘かったです。激ウマ! 海鮮重 1350円
吸い物・もずく酢・漬物付



大門茶屋いろり

有限会社 瀬野陶磁器原料

〒849-1426
佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1
TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。



第33話 会長さんの 昔話

わが家は浄土真宗本願寺派の門徒です。檀那寺は嬉野町の美城山明元寺。このお寺は1598年に開かれたそうです。江戸時代、この住職あるいは関係者が大分県から瀬野姓の方を連れてきたのが私どもの地域



明元寺

の瀬野姓の始まりと聞いています。本願寺派の総本山は京都の西本願寺です。ここには念仏奉仕団というのがあります。これは全国の門徒さんが地域団体で本山へのお参りと清掃奉仕を行う活動です。このとき希望者は帰敬式を受けることができ、受式すれば法名をいただけます。私がまだ子どもの時分から、父と母はよくこの念仏奉仕団に参加していました。京都まで行くので数日家にいません。二人一緒に出かけるので子どもたちだけになります。

前号でお話したように、うちには住み込みで働きに来てくれていたねえちゃんたちがいたので、私たちが兄弟子どもの世話には彼女たちがしてくれていました。彼女たちのおかげで、父も母も仕事や子どもの事を気にせず、参加することが出来たのだと思います。念仏奉仕団として度々京都に行っていました。住み込みの働き手さん達は女の子がほとんどです。食事の準備にあたって母は「ご飯が足り



国宝 西本願寺阿弥陀堂



国宝 西本願寺御影堂

ないなんてことはあってはならない」といつも言っていました。住み込みの方がいなくなつたのは、私が結婚し子どもたちが生まれた後なので、今の今まで私は炊事洗濯をしたことがほとんどありません。

瀬野義則

ニュースレターの送付停止はホームページから簡単にできますのでご利用ください。▶▶▶▶

1年も半分が過ぎようとしていますね!つい先日お正月だったような…。年頭に立てた目標進んでいますか??

瀬野 陶磁器



<https://fromform.jp/>